はばたけ

2021, 06, 03
名護幼・小学校
NO. 4

緊急事態宣言中

１人１台端末

「１人１台の端末は令和の学びのスタンダード」と言われるようになってきました。本市においても、小中学校児童生徒１人に１台の情報端末(タブレット)が貸与されました。また、各教室等では、Wi-Fiが使えるようになり、通信環境も整えられています。*Society(ソサイエティ)5.0の時代を生きる子ども達の学びに必要不可欠なＩＣＴ環境が少しづつ整えられ、*GIGAスクール構想が推し進められています。

本校は活用を始めたばかりで「まずは使ってみる」段階ではありますが、授業中の課題を担任タブレットへ提出、教科書記載のＱＲコードを読み取り関連サイトの閲覧、ネット検索、学級内アンケートの提出・集計、タブレットの中で発表・意見交換、作文等の文章作成、写真や動画の撮影、タイピング練習などに取り組んでいます。少しずつではありますが、発達段階に応じてタブレットを活用する場面が増えつつあります。

*OECD調査によると、日本は、PC等を「学習用具」としての活用ではなく、「ゲーム」や「チャット」で使う物という実態が報告されています。世界から後塵を排している状況ですが、主体的・対話的で深い学びの視点から、ICT機器を有効に活用し、世界に通用する、たくましく生きる子ども達の育成をめざし、取組の充実を図っていきたいと思います。子のスキル習得に負けないように…。

*GIGAスクール構想とは、1人1台の端末と高速通信環境の整備をベースとして、Society 5.0の時代を生きる子供たちのために「個別最適化され、創造性を育む教育」を実現させる施策。
*Society 5.0とは
Society1.0(狩猟社会)、2.0(農耕社会)、3.0(工業社会)、4.0(情報社会)に続く新たな社会を指す

《大まかな確認事項》
○タブレットは６年まで持ち上がりで使用し、卒業後、学校に返却
○学習以外の使用はしない
○『利用規程』等を整備した後、家庭への持ち帰りを行う
○「家庭のネット環境調査」を行う
○情報モラルに係る指導を徹底する

*OECD調査(日本とOECD平均との比較)
【PCを使って宿題をする[日本3.0%、OECD平均22.2%]】
【勉強のためにインターネットを見る[日本6.0%、OECD23%]】
【ネット上でチャットをする[日本87.4%、OECD67.7%]】
【１人ゲームで遊ぶ[日本47.7%、OECD26.7%]】

新型コロナ感染拡大防止に関する確認
名護市教育委員会より指示がありましたのでご確認下さい。
○新型コロナ感染者が感染可能期間中に登校していた場合は、学級閉鎖とする。部活動に参加していた場合は、当該部活動は停止。
(感染可能期間：症状を呈した日の２日前)
○緊急事態宣言中における部活動は原則中止。ただし、九州・全国大会の予選を兼ねている場合に限り、平日90分以内、土日2時間以内、最少人数で行う。
※同居する家族等が濃厚接触者に特定された場合、その他不安なことがある場合、学校にご連絡下さい。(学校 52-2044)

百日草満開！

地域にお住まいの比嘉啓文(元本校々長)さんご夫妻からいただいた百日草が見頃をむかえています。花咲ランド(正門前歩道の花壇)や正門ロータリー付近は、赤、黄、ピンク、白の花々が咲き誇り、色合いや力強さに目が奪われます。ミツバチやシジミチョウらが行き交う姿に、心が癒やされます。

比嘉さんは、これまでも年間を通じて四季折々の草花を提供して下さったり、幼稚園庭の花植えを園児と一緒にして下さったりしております。「子ども達から元気をもらっている。学校の応援団」と話して下さる比嘉さん。心から感謝します。